

「(仮称) 福島県教材型防災コンテンツ」開発業務に係る審査基準等**1 審査方法等**

提案者から提出された企画提案書等の提出書類に関し、審査員が一次審査（書面審査）及び二次審査（対面審査）を行う。審査結果に基づき、最も優れた提案者（契約予定者）と次点者を特定し、契約に向けた協議を行う。

なお、提案者が1者の場合は、総得点が420点（6割）以上の場合のみ、契約に向けた協議を行う。

2 審査員（予定）

広報課、危機管理課、災害対策課、教育総務課、健康教育課から7名

3 審査基準等**(1) 評価点数の採点基準**

- 「5」 → 特に優れている
- 「4」 → 優れている
- 「3」 → ふつう
- 「2」 → やや劣る
- 「1」 → 特に劣る
- 「0」 → 提案なし

(2) 審査基準

| 審査項目 | | 評価点数 | 加減率 | 最高配点 |
|---------------|---|-------------|-----|------|
| コンテンツ開発 | 【全般的事項】 ・子どもたちが過去の災害について理解を深め、災害から自分の命を守るために必要な知識や心構えを学ぶことを目的としたコンテンツであるというポイントを押さえているか。趣旨がずれていないか。 | 0・1・2・3・4・5 | * 3 | 15 |
| | 【動画教材の制作①】 ・児童・生徒の理解度及び習熟度を向上させるための手法や仕掛け、配慮は優れているか。また、実効性が見込めるか。 | 0・1・2・3・4・5 | * 4 | 20 |
| | 【動画教材の制作②】 ・児童・生徒の興味関心をひきつけ、飽きさせないための手法や仕掛け、配慮は優れているか。また、実効性が見込めるか。 | 0・1・2・3・4・5 | * 3 | 15 |
| | 【教員用授業マニュアルの制作①】 ・教員にとっての利便性を高め、かつ業務負担を軽減するための工夫や配慮は優れているか。 | 0・1・2・3・4・5 | * 2 | 10 |
| | 【教員用授業マニュアルの制作②】 ・児童・生徒の理解度及び習熟度を向上させるための工夫や配慮は優れているか。 | 0・1・2・3・4・5 | * 1 | 5 |
| | 【ワークシートの制作】 ・児童・生徒の理解度及び習熟度を向上させるための工夫や配慮は優れているか。 | 0・1・2・3・4・5 | * 1 | 5 |
| 広報（チラシ） | ・教員向けのチラシは、コンテンツの特長や活用する利点、手軽に利用できる点を効果的に周知・広報するというポイントを押さえているか。また、内容は優れているか。 | 0・1・2・3・4・5 | * 1 | 5 |
| ホームページ サイト | ・ホームページサイトの利便性を高めるための手法や仕掛け、配慮は優れているか。 ・コンテンツについて効果的に周知・広報するための手法や仕掛け、配慮は優れているか。 | 0・1・2・3・4・5 | * 2 | 10 |
| 独自提案等 | ・独自提案やPRポイントの内容は優れているか。また、実効性が見込めるか。 | 0・1・2・3・4・5 | * 2 | 10 |
| 計画性 | ・業務のスケジュールは計画的かつ妥当であるか。 | 0・1・2・3・4・5 | * 1 | 5 |

総得点 100点